



第一話

おっぱいを吸いたい



おっぱい吸いたいのか？

フッ♡

はー♡
ジュン♡

大学で再会した
先輩と付き合い
始めて数日――。

もしかしたら先輩は
女神なのかもしれない
そう思った。

ズ
ン

二時間後

あッ

もう取れちゃう
乳首取れちゃうよっ

チク
パ

チク
パ

ギュー

ごめんなさつい
まだ、ミルクでないのお

たしかに、ミルクは出ないけど、
ほのかな甘い香りに、
「もう少し吸えば出てくるかもしれない」
そんな間抜けな考えに
思考が支配されていた。
もうしばらくやめられそうにない。



気が付いたら夜になっていた
先輩は放心状態で反応がない
知らない間に先輩をイカせ
まくっていたようだ

終わった…？

まさかこんなことにな
るなんておもいも
しなかった……♡

ハア

ッ

ビクッ
ムン

ビクッ
ムン

ハア

ッ

もうおまんこびしょ濡れ
こんなの絶対、ハメられた
瞬間イッちゃうよっ

……よしっ

とりあえず謝ろう

大丈夫だよ
私のおっぱいはもう
君のものだから

いつでも好きな時に
好きなだけ吸って♡

あはっ

……でも、
今度は私の全部
君のものにしてほしいな♡

先輩は僕を喜ばせる
プロなのかもしれない。
そう思えるほど、コーファンする
ツボをおさえてくる

くぱっ



すごいっ
もうイッてる♡

あっ
またイッちゃう！
イク、イクっ、イクう

イクの止まらないっ
こんなの、こんなのお
頭おかしくなるうっ♡

あんっ

あっ

めちやくちや乱れる先輩に
コーフンが収まらなかった
今夜はちよつと眠れそうに
ない

第二話

フエラしてほしい



寝る前に何を話したか
記憶はあやふやだけど
僕は多分こう言った
気がする

あゝあんっ

ギシギシ

「フェラで
起こしてほしい」

いいよっ♡
ついでに一日中
フェラしてあげようか？

フツ

うん
じゃあまた明日ね
おやすみ♡



朝、目が覚めると
下半身が気持ち良かった
人生最高の目覚めかも
しれない

昨日あんなにしたのに
すごい元気だね♡

今日は何回できるかな？

いつでも好きなときに
出していいからね♡

おはよう♡

チン
チン

レロ

ニコニコ

おちんちん
すごく硬くなってるっ

大好きな人の
精子っ♡

精液出して
気持ちよくなって
ほしいっ♡

チゅ

ジゅ
ホ

チゅ
ブ

ミゅ
ホ

学内でも美人で有名な
先輩が顔をゆがませて
僕のちんこにしゃぶり
ついている

んっ

んぼっ

喉の奥まで使った
献身的なフェラチオ

ドピュッ

ドプッ

ゴキュッ
ゴッ キュ

あつという間に生かされてしまった
オナニーとは比べ物にならない快樂に
腰が砕けそうになる

いひひようさまっ♡

ゲエエ、プ

射精の余韻の中
目の前の先輩が
たまらなく
愛おしくなる

あ

こんなの、毎日でも
頼んでしまいそうだ

大学の講義中にも

苦いけど
おいしいっ♡
もっと、もっとだして♡

精液がのどに
からみつく
この感じ、クセに
なりそう♡

グワッ

ちゃっ

ドッポ

こんなにも美人な先輩を
他の学生たちのすぐ後ろで
じゃぶらせている状況に
コーンしてすぐに
射精してしまった

一日の最後は
お風呂場で

んっ

んっ

きたあ♡

ゴク
ゴク

せいせいせい
しいしい
しっしっ
っっっ
♡♡♡

ぜっ

快樂と優越感とで
頭がおかしく
なりそうな一日
だった。

ドピ

ムッ

ビクッ

ビクッ

やわらかな太ももを
堪能しながら何度も
子宮を目指して
ちんこを突き立てる

あんっ♡

もうずっと
おまんこして
ほしくなっちゃう

気持ちいいっ
気持ちいいのお

あひっ♡

しかし、気づけば
揺れるおっぱいに
目を奪われていた

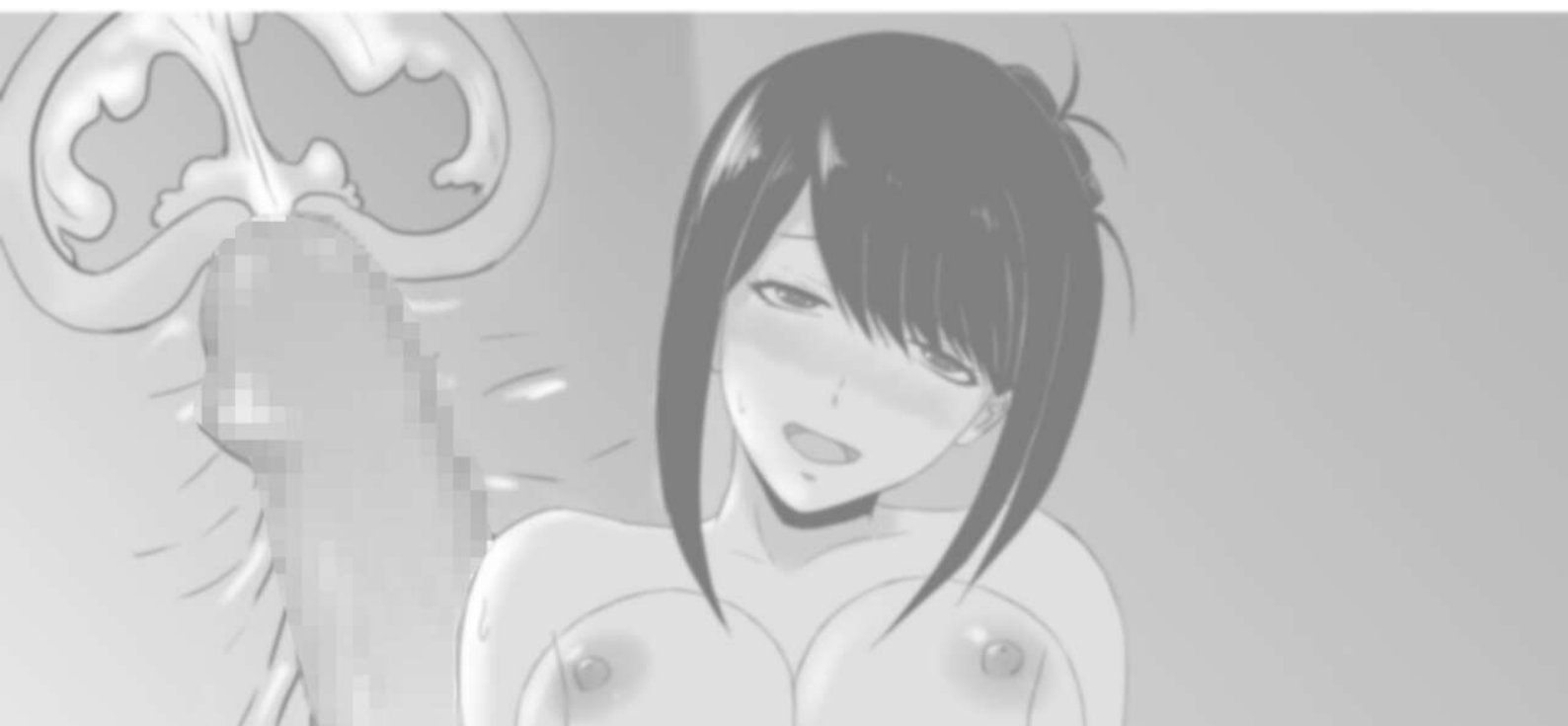
ビクッ

あっ

ビクッ

第三話

中出ししたい



裸エプロンで料理してくれる
先輩に我慢できなくなった僕は――

グイ

んっ

いつか来るとは
思ってたけど、
ついに――

いつもと変わらず
甘えるように
頼んでいた。

おまんこが期待
しちゃってるよお

フリフリ

いよいよ♡

ヒキッ

君がどれくらい
わたしのこと好き
なのか……

嬉しいっ♡

わたしの全部欲しく
なっちゃったんだ

子宮に直接
教えて♡

グッ

欲望のままに
腰を打ち付ける

愛し合うセックス
じゃない——

種付け生セックス

やああ♡
もうイキそう♡

深いのお♡

もう、
イクっ!!
イっちゃうっ

先輩がイっても止めない
何度も何度も腰を打ち付け
ひたすら射精感を
高めていく

たぶん

あっ——

中出しきたあ♡

子宮に直接、
大量の精子があ

ドビュッ
ドビュッ

ドッポ

ビュ

ガク

ガク

両腕つかまれて
体を固定されて
子宮をロックオン
されてるう♡

こんなの絶対
妊娠しちゃう♡

気持ちよすぎて
頭おかしくなりそう

あ、

あ、

ビュッ

こんなにイカされたら
おちんちん大好きな変態女
になっちゃうよお♡

そしたら嫌われ
ちゃうのかな？

もう料理は
どうでもいい

でも、

おまんこから
精子垂れるの
気持ちいいっ!!

僕は先輩を
ベッドに
連れて行った。

ビクッ

フホォ

んほおお

イックウウウ!!

ビクッ

ビクッ

精子すっぴん
きたあ♡

もうお腹いっぱい
入りきらないっ

でもっ
ん、ぎもぢい♡

ドビュ

ドッ
ドッ
ドッ

ドビュ

ビクッ

ドビュ

あはっ♡

いっぱい
出たね♡

もうおなか
タプタプだよお

一応、今日は
安全日だけど

こんなに中出しされたら
流石に危ないかも……

安全日!!

つまり中出し
し放題!!

コポオ

今度は、
わたしが上？

いいよ♡

その時はわたしのおまんこ
好きに使っていいからね♡

でも、イキすぎて
もうかなり限界だから
気を失っちゃうかも

ハァ

ハァ



のっし

ん、ぎもぢいいいゝ

腰が勝手に
動いちゃうっ♡

あう

あん

このままだとまた
すぐイっちゃう♡

先輩の愛情たつぷりな
騎乗位の破壊力を
侮っていた。

イキ癖が
ついっちゃうてるかも

たんっ
たん

ぐちゃ ぐちゃ

たんっ

このままだと
こっちがすぐに
イカされてしまう

あ、イクっ
イクう♡

ビク

ビク



——
っ♡

急に先輩の体から
力が抜けて
動かなくなった

心配になって声を
かけたが、やっぱり
気絶していた

——
っ♡

ビクッ
んんん

ハッ

ハッ

ちゃっ
ぽ

ちゃるる

ビクッ
ん

い
い

ビクン

ビクッ
ん

ということ、先輩が言っていた
とおり、好きにやらせてもらおう

目の前の無防備で無抵抗な
美女に無許可で中出ししまくる
なんて最高のシチュエーション
すぎる
ちなみに、先輩が目を覚めたのは
二時間後だった。

第四話

外でエッチしたい



お祭り
楽しかったね♡

来年も一緒に
来ようね

?

どうしたの?
そんなに見つめて…

したくなっちゃったんだ?
……いいよ♡

でも人気のない
ところで、ね

フツ



通りの裏に行つて
先輩の浴衣をまくり上げると
ノーパンノーブラだった

僕は勃起したちんこを
先輩のおしりに押し付けながら
さらに浴衣を脱がしていった。
外で全裸もコーフンする!!

ぜったい
感じすぎちゃうっ

ガ
ハ
ッ

キ
ュッ

うそ!?
全部脱いじゃうの!?

そんなのダメ!!
コーフンしちゃうから

先輩は動揺しながらも
浴衣を脱いでくれた

フェラチオして
と、お願いしたら
とんでもない速さで
しゃぶりついてきた

おちんぽ♡
おちんぽ♡

早くわたしの中に
ちようだい♡

ぐっポ。
ぐっポ。

レロ
レロ

ビクッ
ビクッ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

ああっ!!
早くコシでおまんこ
ズボズボしてほしいっ♡

あまりのしゃぶりつきに
すぐに射精しそうだったので
まんこ出して、とお願いする



先輩がおしりを振って
挑発してくる

早くちんぽ
入れてほしいっ♡

もうめちゃくちや
濡れちゃってるの

こんなの絶対
声でちゃうよぉ♡

外なのに、いや外だから
コーフンしちゃってるの

もはや当然のように
ゴムを着けずに
挿入した



一気に奥まで突き入れると
先輩は激しく体を震わせた

——いつ

必死に声を我慢している
姿が可愛すぎて何度も
深く突き上げた

もう周囲に気づかれても
構わない

今はとにかく目の前の
先輩をめちやくちやに
犯してしまいたい

ズブッ



あッ

ゴッ
ゴッ

ぐちゃ

ぐちゃ

もう声我慢
できないっ!!

ビクッ

子宮がキスする
度にイっちゃう

このまま種付け
射精されちゃったら
絶対誰かに気づかれ
ちゃうよ



イ
ツ
ク
ウ
ウ
ウ
ウ
ウ
ウ
ウ
ウ
!!

おっ

精液が……

おうっ

直接子宮につ!!

おほっ♡

幸せすぎで
飛んじゃうっ!!

先輩のイキ声が
あたりに響き渡った

間違はなく何人もの
人の耳に入った
ことだろう

でも……

今までで一番の快感に
浸りたい気分だった

んっ♡

ひっ♡

一刻も早くこの場を
離れないと……

少なくとも先輩のマンコが
しゃぶりついている間は
余韻を楽しんでも
問題ないだろう

たふん

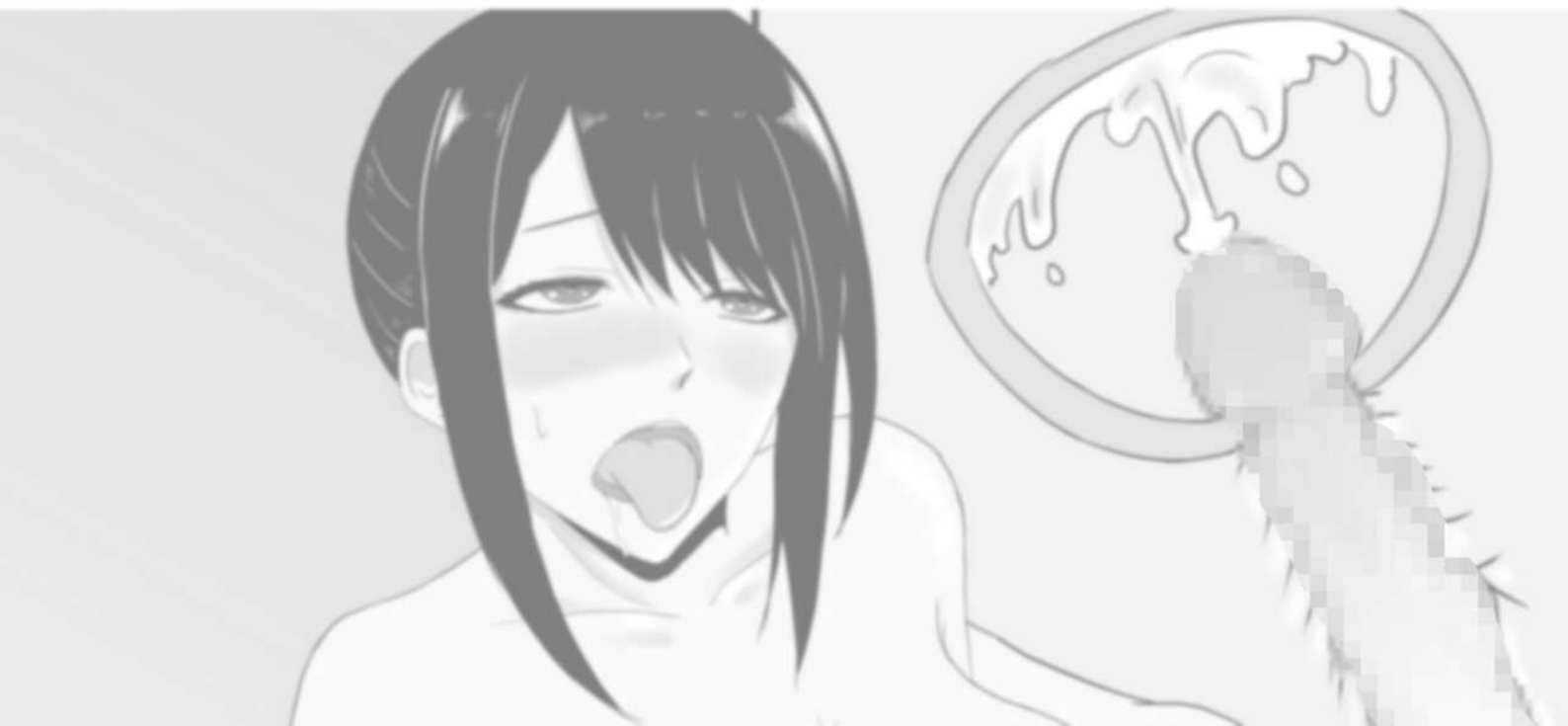
ゴポオ

ビクッ

たが

第五話

孕ませたい



祭りの日から
数日後――

屋外で大絶頂を迎えた
後から、先輩はかなり
積極的になっていた

ほら
ほら
あらあ♡

ねえ、
もうおまんこ
準備できているよ♡

早くちようだい♡

こんなに誘われて
断れるわけもなく
毎日先輩に中出し
していた

でも僕は
知っている

先輩が毎回ちゃんと
アフターピルを飲んで
避妊してくれていること
でも、僕は今日
決心していた



—えっ!!

孕ませたいって
本気、なの？

……うん
いいよ♡

私も君の
赤ちゃん欲しい♡

ああっ、もう!!
我慢できないよぉ♡

やだっ
嬉しいっ♡

ドキ

ドキ

ハッ

ハッ

本当はずっと
前から君の赤ちゃん
ほしかったの

キュン

キュン

わたしの子宮に
思いつきり種付け
してえ♡

くちゅ

くちゅ



子宮に直接きたっ♡

一滴残らず注がれ
ちゃってるっ

こんなの無理!!
絶対妊娠しちゃう
妊娠するの♡

おっ

ゴッ
ビッ
ビッ
ゴッ

ドッ
ドッ
ドッ
ドッ

ビッ
フッ
フッ



いっぱい出たね♡

あはっ♡

気持ちよかった？

人生最高の射精
だったかもしれない

トクン

種付けの快楽に呆けていたら
先輩にのしかられてしまった

ねっ♡

もう一回
しよ♡

ふっ♡

視線を落とせば
おまんこから
滴り落ちる精液

僕の息子はすぐに
臨戦態勢になった

タッ♡

ゴッ♡

ハア

ハア

もっと吸って♡

気持ちいいのっ

おっぱい吸われるの
好きっ♡

もう一生君の
おまんこだから、ね♡

ちゃっ
ちゃっ

好き♡

好きっ♡

あっ

もう自分の中の本能が
目の前の雌を種付けしろ
と、たぎっていた

ぬっふ♡

ぬっふ♡

キスう♡

キス好き♡

おまんこの奥
君のザーメンで
いっぱいにしてえ

キスしながら
イッちゃう！

わたしに赤ちゃん
ちょうだい♡

むにゅ

赤ちゃん欲しい♡

このまま一番
奥に種付けしてえ♡

君の赤ちゃん
欲しいの♡

パン

パン



タフン♡

ビュ

ビュ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ビュッ

大好き♡

先輩は自分の精子を
受け入れて幸せそうに
呆けていた

僕はこの笑顔を一生
守っていきこうと、
心に誓った

キューン

あとがき

皆さんご購入ありがとうございます。前作よりかなり間が空いてしまいましたが、なんとか2作目を発売することが出来ました。しかし製作期間半年以上ということで、絵柄が安定せず、最後の調整にも時間がかかってしまったのは良くなかったと反省の至りでございます。

次回作はもっと早く発売できるように頑張りますので、応援してくれると嬉しく思います。

それではまた次回(おそらくCG集)で会いましょう。^^/

